

第1部 中国

1 マクロ経済動向

(1) 経済成長の軌跡

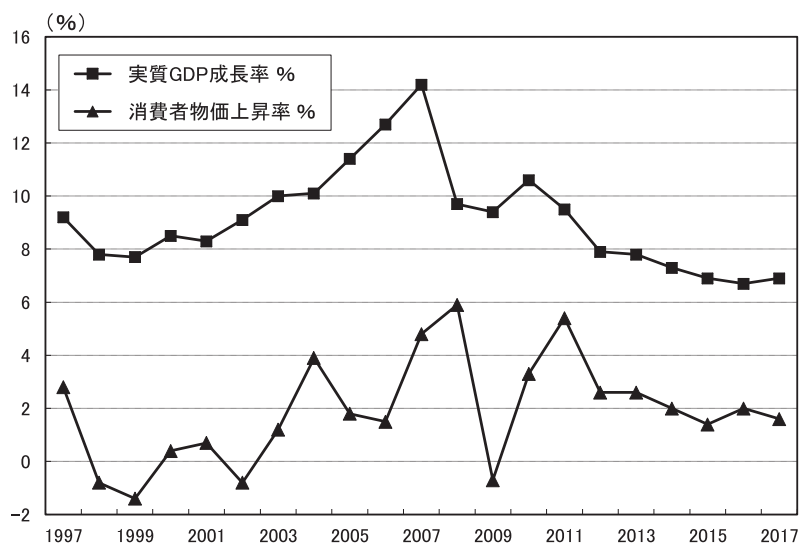
① 全国

2017年の名目GDPは82兆7122億元に達し、一人当たりの付加価値生産額は、5万9660元だった。実質GDP成長率は6.9%であり、前年の6.7%よりも上昇した（図1-1-1）。2017年の実質経済成長率に対するGDP構成要素の寄与をみると、純輸出は0.6%、最終消費支出は4.1%、固定資本形成は2.2%に相当する（図1-1-2）。2017年の実質GDP成長率を四半期別にみると、第1四半期実質GDP成長率は、前年同期比6.9%、第2四半期も同6.9%、第3四半期は同6.8%で、第4四半期は同6.8%であることが示された¹。名目GDPに占める第一次産業の割合は7.9%、第二次産業の割合が40.5%で、第三次産業の割合は51.6%であり、前年40%を下回った第二次産業の割合が40%を回復した点が指摘できる。消費者物価指数（CPI）は前年比1.6%の上昇を示しており、2017年の物価は中国では比較的安定的だったといえる。

② 東北地域

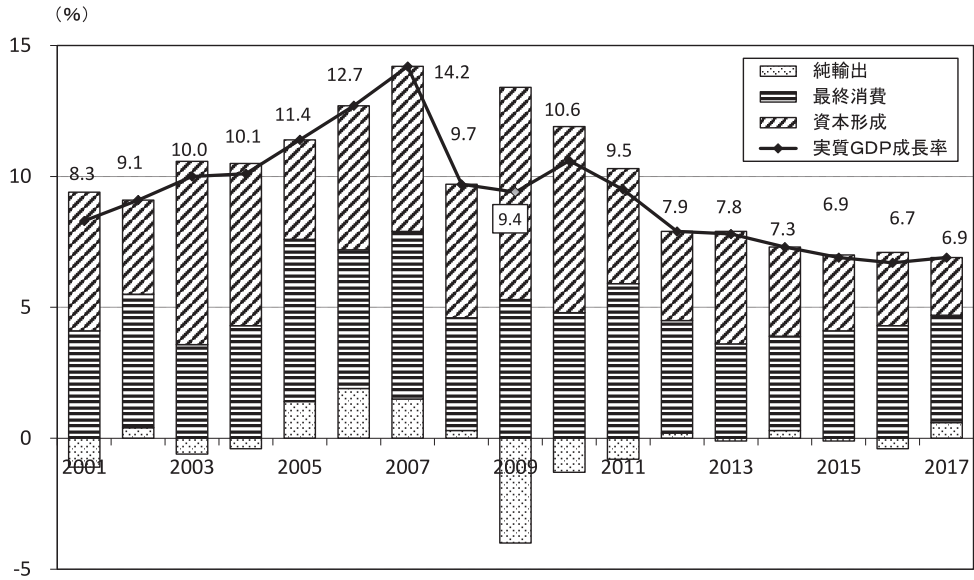
東北三省と内モンゴル自治区の経済成長率は、2000年代初頭、東北振興政策（東北旧工業基地振興戦略）の効果により、全国平均値よりも高い成長を示していた。しかし、2007年以降数値は低下傾向にあり、東北地域における経済が減速傾向にあることを示している（図1-1-3）。

図1-1-1 中国の実質GDP成長率と消費者物価指数の上昇率



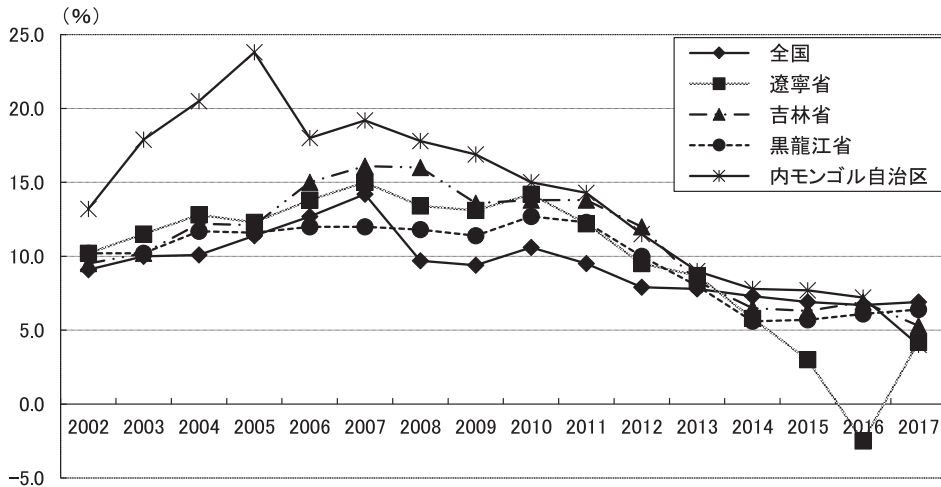
(出所) 中国国家统计局ホームページ (<http://data.stats.gov.cn>)、ならびに『中華人民共和国2017年国民経済和社会发展統計公報』(2018)より作成

図1-1-2 実質GDP成長率の推移と項目別寄与度



(出所) 中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より作成

図1-1-3 全国と東北地域の実質経済成長率



(出所) 遼寧省統計局『2017年遼寧省国民経済・社会発展統計公報』2018年2月、吉林省統計局『吉林省2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月、黒龍江省統計局『2017年黒龍江省国民経済・社会発展統計公報』2018年4月、内モンゴル自治区統計局『内モンゴル自治区2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月、各省・自治区『統計年鑑』2017年版、中国国家统计局ホームページ (<http://data.stats.gov.cn>) より作成

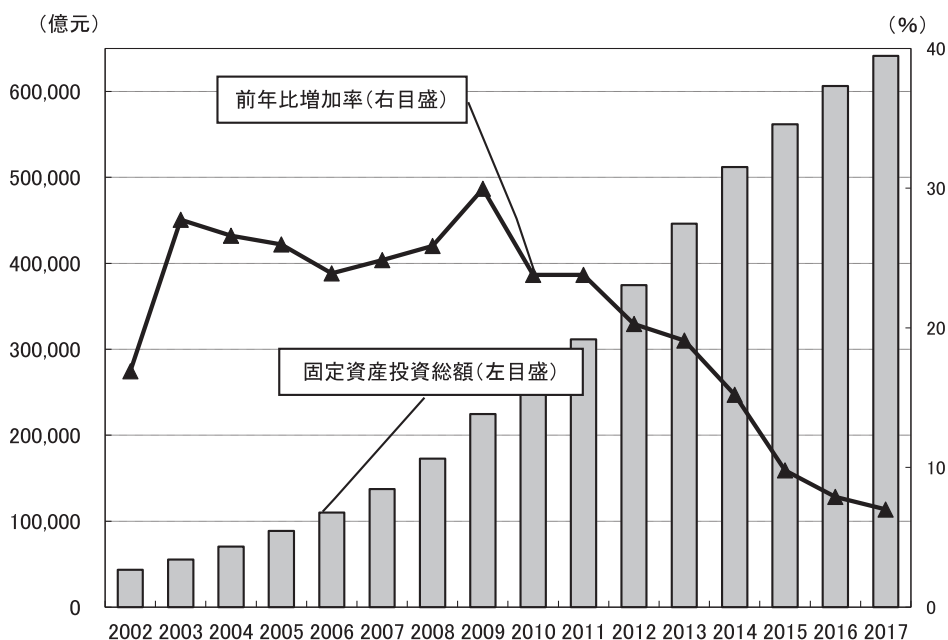
2016年は遼寧省の実質経済成長率が負値をとり、大きな注目を集めたものの、2017年には、その数値が4.2%まで回復している。

(2) 投資

① 全国

2017年に中国で実行された固定資産投資の総額は²、名目値で前年比7.0%増での64兆1238億元だった(図1-1-4)。そのうち農村家計を除く固定資産投資額は、前年比7.2%増の63兆1684億元である。地区別にみると東部地区における投資額は、前年比8.3%増の26兆5837億元、中部地区における投資額は同6.9%増の16兆3400億元、西部地区における投資額は、同8.5%増の16兆6571億元、東北地区における投資額は、同2.8%増の3兆655億元である。

図1-1-4 中国の固定資産投資総額および前年比増加率



(出所) 中国国家统计局『中国統計摘要』2017年版と『中華人民共和国2017年国民経済和社会発展統計公報』(2018)より作成

② 東北地域

東北地域の固定資産投資額(農村家計を除く)をみると、2016年に大幅に減少した遼寧省の固定資産投資総額は、2017年時点ではほぼ横ばいで推移している。それ以外の省についても、固定資産投資の増加率はさほど高くない。遼寧省は前年比0.1%増の6444.7億元³、吉林省は、同1.4%増の13130.9億元⁴、黒龍江省は同6.2%増の11079.7億元であった⁵。また今年度については、『内蒙古自治区2017年国民経済和社会発展公報』には同指標の掲載がなかったものの、『中国統計摘要(2018年版)』によると内モンゴル自治区同指標の値は、13827.9億元である(表1-1-1)。

各地区の産業別投資額の状況を見ると、遼寧省は第一次産業の投資が前年比2.0%減の113.0億元、第二次産業の投資が同2.0%増の2242.0億元、第三次産業の投資が同0.8%減の4089.8億元であり、第一次産業と第三次産業において投資額の減少が見られる⁶。吉林省は第一次産業の投資が同28.9%増の852.9億元、第二次産業の投資が同4.4%減の6351.3億元、第三次産業

表1-1-1 東北地域の固定資産投資額（農村家計を除く） 単位：億元

年	中国全国	遼寧省	吉林省	黒龍江省	内モンゴル自治区
2009	193,920.4	11,605.1	5,959.0	4,695.7	7,143.8
2010	241,430.9	15,106.3	7,395.2	6,292.7	8,688.0
2011	302,396.1	17,431.5	7,226.7	7,157.9	10,253.0
2012	364,854.2	21,535.4	9,262.2	9,375.4	11,749.8
2013	435,747.4	24,791.4	9,725.8	11,121.3	14,072.4
2014	501,264.9	24,426.8	11,107.9	9,537.9	17,437.9
2015	551,590.0	17,640.4	12,508.6	9,884.3	13,529.2
2016	596,500.8	6,436.3	13,773.2	10,432.6	14,894.0
2017	631,684.0	6,444.7	13,130.9	11,079.7	13,827.9

(注) 2010年以前は都市部固定資産投資額、2011年からは農村家計を除く固定資産投資額。

(出所) 中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版

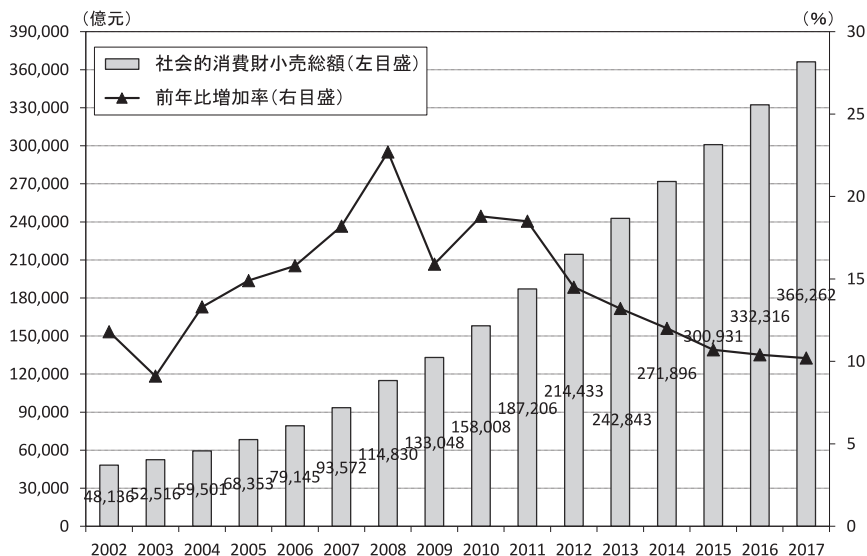
の投資が同5.1%増の5926.7億元で、前年に引き続き第一次産業の投資が大きく増加した⁷。黒龍江省は、第一次産業の投資が同25.2%増の1262.9億元、第二次産業の投資が同3.6%増の4113.3億元、第三次産業の投資が同4.6%増の5703.5億元である⁸。これらの指標から黒龍江省では第一次産業の投資増加が進み、第二次産業の投資増加が減速している状況にある。

(3) 消費

① 全国

2017年の中国における消費動向を示す指標である社会消費財小売総額(社会消費品小売総額)は、前年比10.2%増の36兆6262億元であった。消費の変化率は前年と同程度の水準であり、10%近い消費の拡大を継続している状況である(図1-1-5)。都市部の消費は同10.0%増の31

図1-1-5 中国の社会的消費財小売総額および前年比名目伸び率



(出所) 中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より作成

兆4290億元、農村部の消費は同11.8%増の5兆1972億元である。消費形態別にみると、商品小売が同10.2%増の32兆6618億元、飲食売上額が同10.7%増の3兆9644億元であることが示された。

② 東北地域

2017年における社会的消費財小売の東北三省合計額は3兆762億元で、そのうち、遼寧省が前年比2.9%増の1兆3807.2億元で東北三省全体の44.9%を占める。吉林省は同7.5%増の7855.8億元、黒龍江省は同8.3%増の9099.2億元である。いずれも全国平均増加率（10.2%）を大きく下回った。

2 産業・労働

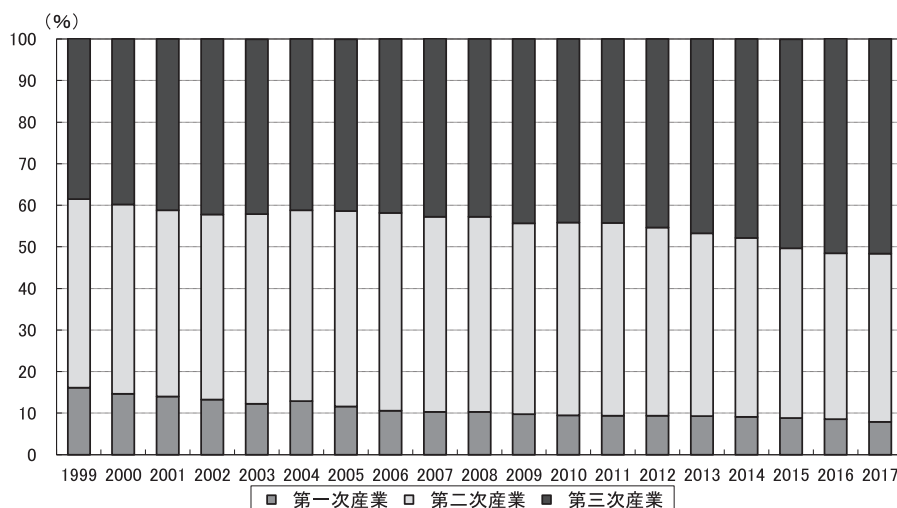
(1) 産業

① 全国

GDP構成比から全国の産業構成をみると、長期的には1999年以降、第一次産業の比率は低下、第三次産業の比率は上昇し続けているが、近年に注目すると第一次産業の比率は横ばい、第二産業の比率が低下し、その分第三次産業の比率が上昇している。2017年の名目GDPを産業別にみると、第一次産業は6兆5468億元（前年比3.9%増）、第二次産業は33兆4623億元（同6.1%増）、第三次産業は42兆7032億元（同8.0%増）だった。GDP全体に占める第一次産業の割合は前年より0.7ポイント低い7.9%となり、第二次産業の割合は前年より0.6ポイント高い40.5%、第三次産業の割合は前年と横ばいの51.6%である（図1-2-1）。

年間の全工業の生産額（付加価値ベース、以下同）は、27兆9997億元で、前年比6.4%増となった。一定規模以上工業企業の生産額は⁹、前年より6.6%増え、そのうち国有及び政府過半

図1-2-1 GDP構成比からみた全国の産業構成



(出所) 中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より作成

出資企業は前年比6.5%増、集団所有制企業は同0.6%増、株式制企業は同6.6%増、外資系および香港・マカオ・台湾系企業は、同6.9%増、私営企業は同5.9%増であり、前年付加価値生産の減少を示した集団所有制企業が増加に転じた。

一定規模以上工業のうち、農産物・副業産品食品工業の生産額は前年より6.8%増、繊維業は4.0%増、化学原料と化学製品製造業は3.8%増、非金属鉱物製品業は3.7%増、黑色金属冶金圧延加工業は0.3%増、汎用設備製造業は10.5%増、専用設備製造業は11.8%増、自動車製造業は12.2%増、電気機械・器材製造業は10.6%増、コンピュータ、通信その他電子設備製造業は13.8%増、電力熱生産と供給業は7.8%増となった。

主要原材料のうち、粗鋼生産は8億3172.8万トン（前年比3.0%増）、鋼材は10億4958.8万トン（同0.1%増）、セメントは23.4億トン（同3.1%減）だった。工業製品のうち、自動車生産台数は、2901.8万台（同3.2%増）、携帯端末は18億8982.4万台（同2.2%増）、パソコンは3億678.4万台（同5.8%増）となった。前年大きく生産量が伸びていた自動車や携帯端末は、2017年の生産量増加がさほど大きくないという特徴がある。

② 東北地域

2017年における遼寧省の名目地域内総生産（GRP）は2兆3942.0億元で、東北三省全体の43.2%を占めている。遼寧省の産業構成は表1-2-1に示したように、東北の他地域と比べると第一次産業の比率が低い。吉林省は東北地域の中では第一次産業の比率が高いわけではないが、全国に比べると第一次産業の比率が高く、第二次産業の比率は全国の構成や、他の東北地域の比率よりも高い。黒龍江省は、第一次産業の割合が極めて高く、第二次産業の割合が極端に少ないという特徴を示している。内モンゴル自治区は吉林省と似た産業の構成を示しているが、第一次産業の比率が高い¹⁰。

表1-2-1 全国及び東北地域の産業構成比

	GDP・地域内総生産からみた産業構成比（%）		
	第一次産業	第二次産業	第三次産業
全 国	7.9	40.5	51.6
遼 寧 省	9.1	39.3	51.6
吉 林 省	9.3	45.9	44.8
黒 龍 江 省	18.3	26.5	55.2
内モンゴル自治区	10.2	39.8	50.0

（出所）遼寧省統計局『2017年遼寧省国民経済・社会発展統計公報』2018年2月、吉林省統計局『吉林省2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月、黒龍江省統計局『2017年黒龍江省国民経済・社会発展統計公報』2018年4月、内モンゴル自治区統計局『内モンゴル自治区2017年国民経済・社会発展統計公報』、2018年3月、中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より作成

吉林省の2017年名目GRPは、1兆5288.9億元だった。産業構造について第一次産業の構成比は前年の10.1%から低下し9.3%となった。第二次産業比率は前年の48.0%から45.9%に低下し、第三次産業は前年の41.9%から44.8%に上昇している。一定規模以上の工業企業が生産額を産業別にみると、自動車製造業は前年比13.9%の増加、石油化学工業は、同5.6%増、食品産業が同7.4%増、情報産業が同10.6%の減少、医薬品製造業が同1.9%増、冶金建材産業は同5.3%の減少、エネルギー産業は同3.7%増、繊維業は同9.4%増だった¹¹。特に前年に比べて、情報産業の生産鈍化と自動車製造業の生産増加が目立つ。

2017年における黒龍江省の名目GRPは、1兆6199.9億元に達し、第一次産業の構成比は、前年から上昇して18.3%、第二次産業の比率は低下し、26.5%、第三次産業の比率は、55.2%となっている。一定規模以上の工業企業の生産は、前年比で2.7%増加しており、そのうち四大主導産業の装備製造産業は同15.8%増、石油化学工業は同4.0%の減少、エネルギー業が同1.4%増、食品産業が5.8%増である¹²。

2017年の内モンゴル自治区の名目GRPは1兆6103.2億元に達した。第一次産業比率の過去10年間の推移は、2008年の11.7%、2009年の9.5%、2010年の9.4%、2011年の9.1%、2012年の9.1%、2013年の9.5%、2014年の9.1%、2015年の9.0%、2016年の8.8%へと低下傾向で推移していたが、2017年は10.2%へと大きく上昇している。第二次産業が前年の48.7%から39.8%に大きく低下、第三次産業は前年の42.5%から50.0%へと大きく上昇した¹³。

(2) エネルギー

2017年における一次エネルギーの生産量（速報値）は、標準炭換算で35億9000万トンだった。その構成比は石炭が69.6%、石油が7.6%で、天然ガスが5.4%、その他エネルギーが17.4%だった。一方でエネルギーの消費量（速報値）をみると44億9000トンとなり、構成比は石炭が60.4%、石油が18.8%で、天然ガスが7.0%、その他エネルギーが13.8%だった。1992年から中国のエネルギー需要は供給を上回り、急速な経済発展に伴って需給のギャップが

表1-2-2 中国のエネルギー生産量と消費量

年	生産量 (標準炭万トン)	構成比 (%)				消費量 (標準炭万トン)	構成比 (%)			
		石炭	石油	天然ガス	その他 エネルギー		石炭	石油	天然ガス	その他 エネルギー
1996	133,032	75.0	16.9	2.0	6.1	135,192	73.5	18.7	1.8	6.0
1997	133,460	74.3	17.2	2.1	6.5	135,909	71.4	20.4	1.8	6.4
1998	129,834	73.3	17.7	2.2	6.8	136,184	70.9	20.8	1.8	6.5
1999	131,935	73.9	17.3	2.5	6.3	140,569	70.6	21.5	2.0	5.9
2000	138,570	72.9	16.8	2.6	7.7	146,964	68.5	22.0	2.2	7.3
2001	147,425	72.6	15.9	2.7	8.8	155,547	68.0	21.2	2.4	8.4
2002	156,277	73.1	15.3	2.8	8.8	169,577	68.5	21.0	2.3	8.2
2003	178,299	75.7	13.6	2.6	8.1	197,083	70.2	20.1	2.3	7.4
2004	206,108	76.7	12.2	2.7	8.4	230,281	70.2	19.9	2.3	7.6
2005	229,037	77.4	11.3	2.9	8.4	261,369	72.4	17.8	2.4	7.4
2006	244,763	77.5	10.8	3.2	8.5	286,467	72.4	17.5	2.7	7.4
2007	264,173	77.8	10.1	3.5	8.6	311,442	72.5	17.0	3.0	7.5
2008	277,419	76.8	9.8	3.9	9.5	320,611	71.5	16.7	3.4	8.4
2009	286,092	76.8	9.4	4.0	9.8	336,126	71.6	16.4	3.5	8.5
2010	312,125	76.2	9.3	4.1	10.4	360,648	69.2	17.4	4.0	9.4
2011	340,178	77.8	8.5	4.1	9.6	387,043	70.2	16.8	4.6	8.4
2012	351,041	76.2	8.5	4.1	11.2	402,138	68.5	17.0	4.8	9.7
2013	358,784	75.4	8.4	4.4	11.8	416,913	67.4	17.1	5.3	10.2
2014	361,866	73.6	8.4	4.7	13.3	425,806	65.6	17.4	5.7	11.3
2015	361,476	72.2	8.5	4.8	14.5	429,905	63.7	18.3	5.9	12.1
2016	346,037	69.8	8.2	5.2	16.8	435,819	62.0	18.5	6.2	13.3
2017	359,000	69.6	7.6	5.4	17.4	449,000	60.4	18.8	7.0	13.8

(出所)中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より作成

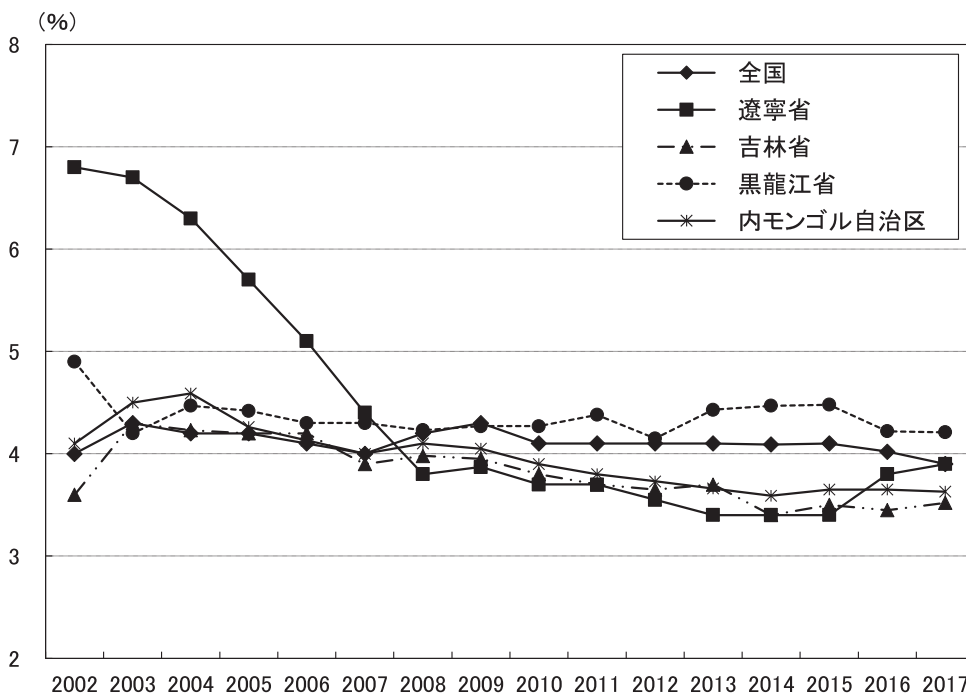
広がる一方となっている。それ以外には、化石燃料の構成比が低下傾向にあり、それに伴い再生可能エネルギーなどを含むその他エネルギーの割合が増加していることが特徴的である（表1-2-2）。

(3) 労働

2017年末の全国の就業者数は7億7640万人で、うち都市の就業者数は4億2462万人だった。2017年における就業者の構成比を産業別にみると、第一次産業の就業者数は2億944万人で、構成比は27.0%と前年の27.7%から低下を続けた。第二次産業の就業者数は、2億1824万人で、構成比が28.1%と前年の28.8%よりも低下している。第三次産業の就業者数は3億4872万人で構成比が44.9%と前年の43.5%から拡大を続けている。

失業情勢については、2017年末の都市部の登録失業者数が972万人で、都市部登録失業率は3.90%と前年の4.02%よりも大きく改善した（図1-2-2）。なお、この都市部登録失業率は都市部の登録ベースのみであり、農村部の失業者はもちろん、都市部でも登録を行っていない失業者、国有企業レイオフ者の一部は含まれていない。これらすべてを含めた実質失業率は、公表されている指標を大きく上回るものと推測される。

図1-2-2 全国および東北地域の失業率



(出所) 各省・自治区『統計年鑑』2017年版、中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版、吉林省統計局『吉林省2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月、黒龍江省統計局『2017年黒龍江省国民経済・社会発展統計公報』2018年4月、内モンゴル自治区統計局『内モンゴル自治区2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月より作成、遼寧省の2017年の失業率は中華人民共和国人民政府のウェブサイトの情報を使用

3 対外経済関係

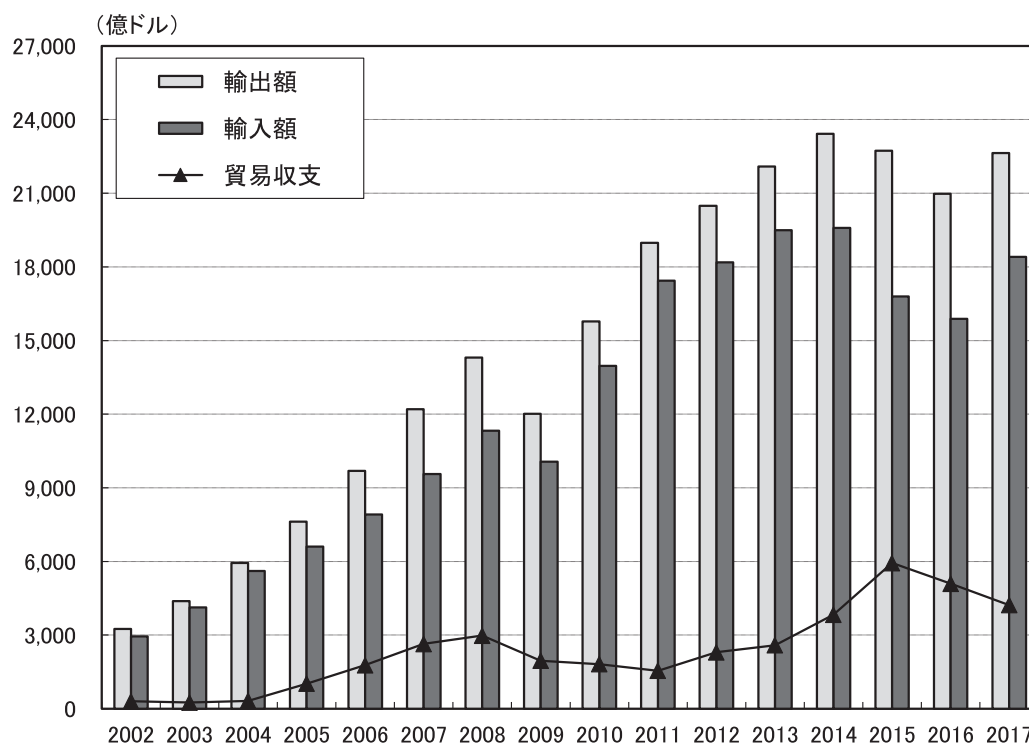
(1) 対外貿易

① 全国

2017年における中国の対外貿易総額は前年比11.4%増の4兆1044.7億ドルとなった。そのうち、輸出が同7.9%増の2兆2634.9億ドル、輸入が同15.9%増の1兆8409.8億ドルだった。貿易収支は4225.1億ドルの黒字で前年比17.0%の減少となった（図1-3-1）。

中国商務部の統計によると2017年における貿易総額は、EUとの取引が最も多かった。貿易総額は6169億ドル、うち輸出は前年比9.7%増の3721億ドル、輸入は同17.6%増の2449億ドルだった。EUに次いで米国との貿易額が多く、5837億ドルで、そのうち輸出は同11.5%増の4298億ドル、輸入は同14.5%増の1539億ドルだった。ASEANは中国にとって第3位の貿易相手国・地域であり、貿易額は5148億ドル、うち輸出は同9.0%増の2791億ドル、輸入は同20.1%増の2537億ドルだった。第4位は前年5位だった日本で、貿易総額は3030億ドル、輸出は同6.1%増の1373億ドルで、輸入は同13.7%増の1657億ドルである。第5位は前年4位だった香港であり、貿易総額が2866億ドル、輸出は同2.8%減の2793億ドル、輸入は同56.2%減の73億ドルとなった。第6位の韓国との貿易額は、2803億ドルで、そのうち輸出は同9.7%増の1028億ドル、輸入は11.7%増の1775億ドルだった。

図1-3-1 中国の輸出入額



(出所) 中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より作成

② 東北地域

2017年の東北三省の輸出入総額は1368.0億ドルとなった（表1-3-1）。東北三省が全国の輸出入額に占める比率は、1997年の5.9%から、2007年の4.0%、2017年は3.3%と傾向的に低下している。

表1-3-1 東北三省および内モンゴル自治区の輸出入額の推移 (億ドル)

年	遼寧省			吉林省			黒龍江省			内モンゴル自治区		
	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支
2001	111.1	88.0	23.1	14.6	16.7	▲2.1	16.1	17.7	▲1.6	11.4	14.1	▲2.7
2002	123.7	93.7	29.9	17.7	19.4	▲1.7	19.9	23.6	▲3.7	13.7	16.3	▲2.6
2003	146.3	119.3	27.0	21.6	40.1	▲18.5	28.7	24.6	4.2	14.4	16.7	▲2.3
2004	189.2	155.2	34.0	17.2	50.8	▲33.6	36.8	31.1	5.7	16.8	23.7	▲6.9
2005	234.4	175.7	58.6	24.7	40.6	▲15.9	60.7	35.0	25.7	20.6	31.0	▲10.4
2006	283.2	200.7	82.5	30.0	49.2	▲19.2	84.4	44.2	40.2	21.4	38.1	▲16.8
2007	353.3	241.5	111.7	38.6	64.4	▲25.8	122.7	50.3	72.2	29.5	48.0	▲18.5
2008	420.5	303.8	116.8	47.7	85.7	▲38.0	165.7	63.2	102.5	35.8	53.5	▲17.8
2009	334.4	294.8	39.6	31.3	86.2	▲54.8	100.8	61.4	39.3	23.2	44.5	▲21.4
2010	431.2	375.5	55.7	44.8	123.7	▲78.9	162.8	92.2	70.6	33.3	53.8	▲20.5
2011	510.4	449.2	61.2	50.0	170.5	▲120.5	176.7	208.4	▲31.7	46.9	72.5	▲25.6
2012	579.5	460.4	119.1	59.8	185.9	▲126.1	144.4	233.9	▲89.5	39.7	72.9	▲33.2
2013	645.4	497.4	148.0	67.6	191.0	▲123.4	162.3	226.5	▲64.2	40.9	79.0	▲38.1
2014	587.6	552.0	35.6	57.8	206.0	▲148.2	173.4	215.6	▲42.2	64.0	81.6	▲17.7
2015	507.1	452.4	54.7	46.1	142.6	▲96.5	80.4	129.8	▲49.4	56.5	70.8	▲14.3
2016	430.6	434.9	▲4.3	42.0	142.5	▲100.5	50.4	115.0	▲64.6	44.0	72.4	▲28.4
2017	449.0	545.5	▲96.5	44.3	141.1	▲96.8	51.4	136.7	▲85.3	49.4	89.6	▲40.2

(出所) 各省・自治区『統計年鑑』各年版、中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より作成

＜遼寧省＞

遼寧省の対外貿易は、輸出入総額が前年比14.9%増の994.5億ドルで、そのうち輸出が同4.3%増の449.0億ドル、輸入総額が同25.4%増の545.5億ドルだった。貿易総額に占める一般貿易の割合は54.4%、加工貿易は26.7%だった¹⁴。

輸出はアジア向けが全体の62.4%を占めており、ASEAN向けの輸出は全体の14.0%だった。日本向けの輸出は全輸出の19.7%で、韓国向けは11.3%だった。欧州向けの輸出は全輸出額の15.6%を占めており、EUへの輸出は全輸出の13.2%、ロシアへの輸出は2.1%だった。北米向けの輸出は全輸出の13.3%で、米国への輸出は11.7%だった。ラテンアメリカへの輸出は全輸出の5.0%、アフリカへの輸出は全輸出の2.0%だった。

＜吉林省＞

2017年の吉林省の輸出入総額は185.4億ドルで、前年に比べて0.5%増となった。そのうち輸出は同5.5%の増加で44.3億ドル、輸入は同1.0%減の141.1億ドルとなった¹⁵。貿易形態で見ると、一般貿易が総貿易額の84.4%、加工貿易が総貿易額の8.6%である。総貿易額に占める加工貿易の割合は前年より低下している。

<黒龍江省>

2017年の黒龍江省の輸出入総額は、前年比13.7%増加の188.1億ドル、そのうち輸出が同2.0%増の51.4億ドル、輸入が同18.9%増の136.7億ドルだった。貿易総額に占める一般貿易の金額は同12.7%増の126.6億ドル（全体の67.3%）、加工貿易の金額は同89.5%増の22.5億ドル（全体の12.0%）だった¹⁶。

<内モンゴル自治区>

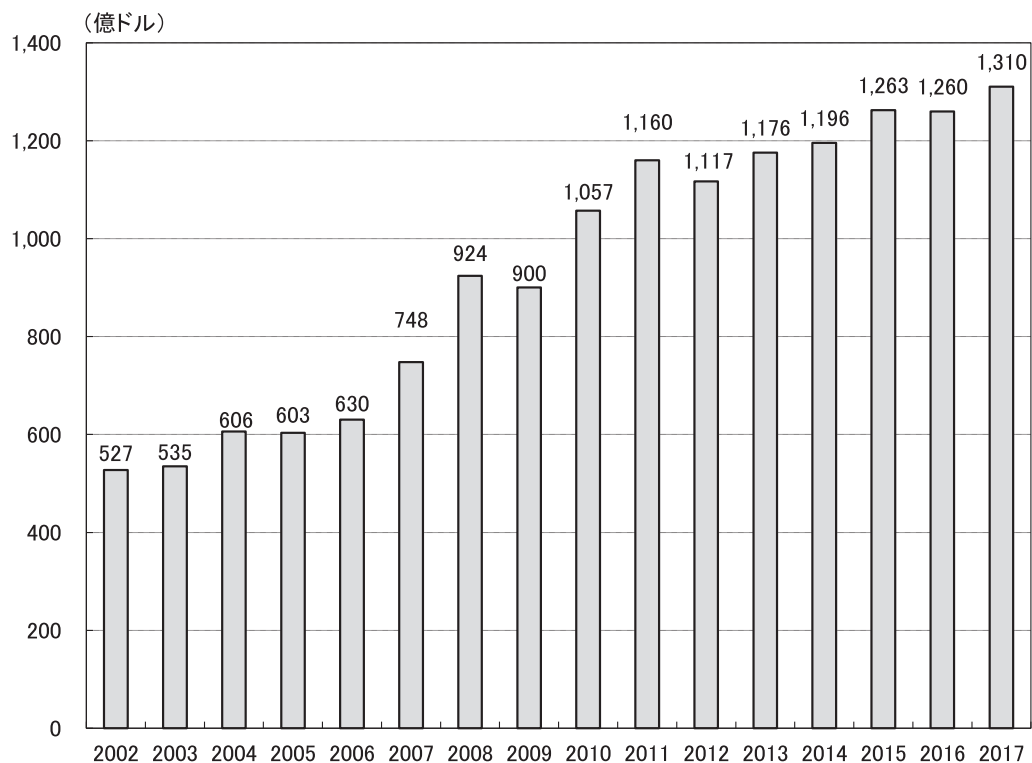
2017年の内モンゴル自治区の輸出入総額は、前年比19.4%増の139.0億ドルで、そのうち輸出が、同12.3%増の49.4億ドル、輸入が同23.8%増の89.6億ドルだった¹⁷。総貿易額に占める一般貿易の割合は、56.8%で、加工貿易の割合は、2.4%だった。

(2) 外国投資

① 全国

2017年に中国が受け入れた外国直接投資（金融分野以外）の新規認可件数は、対前年比27.8%増加の3万5652件で、外国直接投資受入額（実行ベース）は同4.0%増の1310.4億ドルとなった。（図1-3-2）。そのうち「一带一路」沿線国家の外国直接投資新規認可件数は、

図1-3-2 中国の直接投資受入額(実行ベース)の推移



(出所) 中国国家统计局『中国統計年鑑』2017年版、中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より作成

3857件で、同32.8%の増加、金額は56億ドルとなった。国別の投資額の比率をみると最も対中投資の多い国/地域を投資額順で見ると、香港、シンガポール、台湾、韓国、日本、米国、オランダ、ドイツ、英国、デンマークが並ぶ¹⁸。

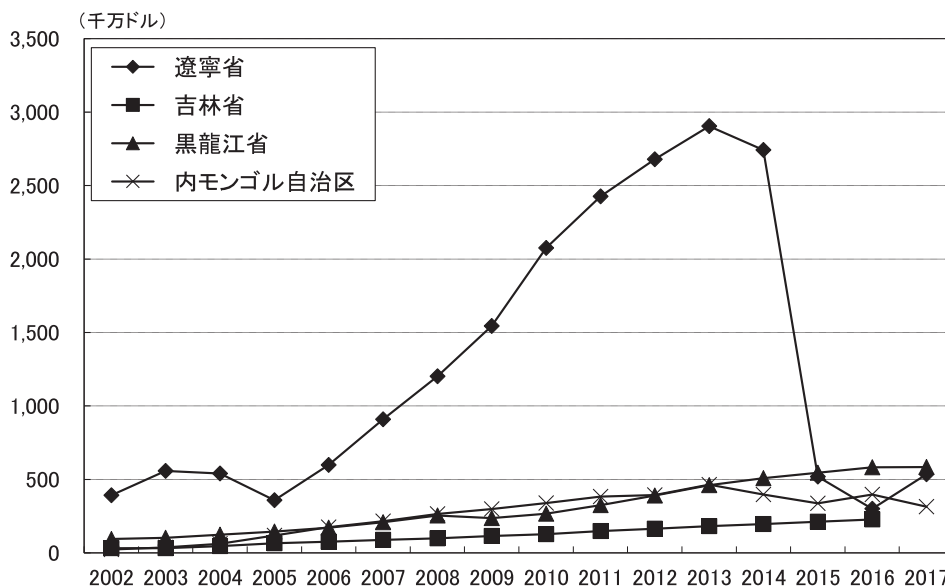
業種別では、製造業が対前年比1.9%減の2259億元、不動産が同10.4%減の1133億元、リース・商業・サービス業は同7.5%増の1125億元、卸売・小売業は同23.9%減の770億元、交通運輸・倉庫・郵政業が同13.6%増の374億元、情報メディア・コンピュータサービス・ソフトウェアが同157.1%増の1389億元、電力・天然ガス・水生産供給業が同68.1%増の235億元、住民サービス・その他サービス業が同16.0%増の38億元だった。

他方、2017年の中国による対外直接投資（金融分野以外）は対前年比19.3%減少の1582.9億ドルであり、対中直接投資額を上回っている。また中国からの対外直接投資の投資先を投資額順にみると、香港、バージニア諸島、スイス、米国、シンガポール、オーストラリア、ドイツ、カザフスタン、英国、マレーシアと続く¹⁹。

② 東北地域

遼寧省では、2017年の外国直接投資額が53.4億ドルで、そのうち第一次産業の利用額は、全体の0.6%を占める0.3億ドル、第二次産業の利用額は全体の57.9%を占める30.9億ドル、第三次産業の利用額は、全体の41.8%を占める22.3億ドルである²⁰。黒龍江省の外国直接投資額は前年比0.3%増の58.4億ドルだった²¹。そのうちの第一次産業への投資は前年の5倍増加、製造業への投資は前年比12.8%の増加、金融業が同8倍の増加で、ホテル・飲食業は前年の2.6倍の増加となった。内モンゴル自治区の2017年における外国直接投資額は31.5億ドルだった²²。

図1-3-3 東北三省および内モンゴル自治区の直接投資受入額（実行ベース）



(出所) 各省・自治区『統計年鑑』2017年版、吉林省統計局『吉林省2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月、黒龍江省統計局『2017年黒龍江省国民経済・社会発展統計公報』2018年4月、内モンゴル自治区統計局『内モンゴル自治区2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月より作成

-
- ¹ 中国国家统计局ホームページ (<http://data.stats.gov.cn>) より。
 - ² 2011年以降は不動産投資・農村個人投資を除き、固定資産投資の対象を50万元以上から500万元以上に引き上げた。
 - ³ 遼寧省統計局『2017年遼寧省国民経済・社会発展統計公報』2018年2月より。
 - ⁴ 吉林省統計局『吉林省2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月より。
 - ⁵ 黒龍江省統計局『2017年黒龍江省国民経済・社会発展統計公報』2018年4月より。
 - ⁶ 遼寧省統計局『2017年遼寧省国民経済・社会発展統計公報』2018年2月より。
 - ⁷ 吉林省統計局『吉林省2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月より。
 - ⁸ 黒龍江省統計局『2017年黒龍江省国民経済・社会発展統計公報』2018年4月より。
 - ⁹ 2011年1月には、一定規模以上の工業企業の最低基準をこれまでの本業の年間売上高500万元から2000万元に引き上げた。
 - ¹⁰ 遼寧省統計局、前掲2より。
 - ¹¹ 吉林省統計局、前掲3より。
 - ¹² 黒龍江省統計局、前掲4より。
 - ¹³ 内モンゴル自治区統計局『内モンゴル自治区2017年国民経済・社会発展統計公報』2018年3月より。
 - ¹⁴ 中国統計摘要2018年版、及び遼寧省統計局、前掲2より。
 - ¹⁵ 吉林省統計局、前掲4より。
 - ¹⁶ 黒龍江省統計局、前掲5より。
 - ¹⁷ 中国国家统计局『中国統計摘要』2018年版より。
 - ¹⁸ 中国商務部『2017年1-12月全国吸収外商直接投資快讯』、2018年1月29日より。
 - ¹⁹ 中華人民共和国商務部『2017年度中国対外直接投資統計公報』2018年版より。
 - ²⁰ 遼寧省統計局、前掲2より。
 - ²¹ 黒龍江省統計局、前掲5より。
 - ²² 内モンゴル自治区統計局、前掲13より。